

INFORMATION

日本看護技術学会 第20回学術集会 (Web開催)

- 日時：ライブ配信 11月5日(土)～6日(日)
オンデマンド配信 11月7日(月)～30日(水)
- テーマ：看護技術のインテグレーション——地域ケアを支える看護のわざ
- プログラム：キーセッション1「看護教育者として地域の人々に優れた看護技術を提供する」水戸優子(神奈川県立保健福祉大学)／2「日本看護技術学会のパースペクティブ：これまでの20年とこれからの20年」川嶋みどり(健和会臨床看護学研究所)、菱沼典子(前三重県立看護大学)、武田利明(前岩手県立大学)、深井喜代子(東京慈恵会医科大学)／3「地域の人々の暮らしを支える食事ケア技術」金井枝美(聖テレジア会聖ヨゼフ病院)、迫田綾子(POTTプロジェクト・日本赤十字広島看護大学)、芳村直美(特定医療法人研精会本部食支援プロジェクト兼福城台病院食支援センター)／4「眠りSCANを用いたケアの実践と発展」木暮貴政(パラマウントベッド 睡眠研究所)、森川大樹(聖マリアンナ医科大学病院)、村上結城(社会医療法人弘恵会ヨコクラ病院)／5「人生に寄り添い暮らしを支援する在宅ケアのわざ」下川広治(秋谷潮かぜ診療所)、石川ルイ子(訪問看護ステーションルイシス)、磯田信子(逗葉地域医療センター訪問看護ステーション)／6「コロナ禍でみえた医療・教育の課題と乗り越える方略」中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長)、長堀薫(横須賀共済病院病院長)
- 参加費：第2期：10月11日～11月30日(クレジット決済のみ)会員1万1000円、非会員1万2000円、学生2000円
- 問い合わせ先：運営事務局
あゆみコーポレーション
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
TEL：06-6131-6605
FAX：06-6441-2055
E-mail：jsnas20@a-youme.jp
URL：http://jsnas20.umin.jp/index.html

第53回(2022年度)日本看護学会学術集会

- 日時：11月8日(火)～9日(水)
- 会場：幕張メッセ(千葉市美浜区)
- テーマ：変化する社会で求められる看護の役割——地域における健康・療養支援の強化
- プログラム：基調講演「変化する社会で求められる看護の役割——地域における健康・療養支援の強化」福井トシ子(日本看護学会学術集会会長、日本看護協会会長)／特別講演2「ICTを活用した看護職の新たな活動モデル——地域を基盤とした重症化予防、高度実践看護」森山美知子(広島大学大学院医学系科学研究科成人看護開発学教授)／3「DX(デジタルトランスフォーメーション)によって、看護の仕事はどう変わるのか」小林史明(デジタル副大臣兼内閣府副大臣)／教育講演「看護におけるEBPM／EIPMの推進に向けて」林田賢史(産業医科

大学病院医療情報部長)／シンポジウム1「医療機関から飛び出そう！女性の健康支援には看護職の力が必要だ！」関正節(高知医療センター病棟看護部長)、宮下美代子(みやした助産院院長)、小嶋由美(ことり助産院院長)／2「看護補助者を確保するためのヒント——自施設ですぐできることを見つけよう」鈴木恵巨(日本看護協会看護開発部教育制度課課長)、後藤友美(厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室長)、小野恵美子(大阪府看護協会常務理事)／3「看護職の力でいう人々の健康・療養支援」川添高志(ケアプロ株式会社代表取締役)、小柳弘恵(やんばる希望が丘助産院院長)、樋口千恵子(たながく理事長)／4「地域包括ケア推進に資する外来看護職の活動」岩澤由子(日本看護協会医療政策部部長)、古田明美(岐阜県総合医療センター管理監)、青木美佐子(入澤泌尿器科内科クリニック法人事務局長兼統括看護部長)／5「地域における戦略的看護職確保」草野哲也(厚生労働省医政局看護課看護職員確保対策官)、森内みね子(日本看護協会常任理事)、若月裕子(山形県看護協会会長)／交流集会1「看護職のバーンアウトや離職を防ぐメンタルヘルスケア——個人への効果的なセルフケアサポートと組織によるラインケアを考える」萱間真美(国立看護大学校長)、高橋晶(筑波大学医学医療系災害・地域精神医学准教授、茨城県立こころの医療センター、筑波メディカルセンター病院精神科)／4「国際保健・国際看護領域における看護職のキャリア構築の現状と課題」芝田おぐさ(WHO西太平洋地域事務局ナースングオフィサー、テクニカルオフィサー)、大田えりか(聖路加国際大学大学院教授)、小野崎耕平(聖路加国際大学公衆衛生大学院教授)／8「心身の負担の少ないシフト——頻繁な昼夜遷移が生じない夜勤・交代制勤務について」奥村元子(日本看護協会労働政策部看護労働課)、奥裕美(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授)／セミナー1「看護職員の賃金について考えてみよう——私たちの賃金はどのように決まっているのか」福井トシ子(日本看護協会会長)／2「医療・看護に係る国際動向」手島恵(千葉大学大学院看護学研究科教授)、安西恵梨子(WHO西太平洋地域事務局ナースングオフィサー)／3「明日からできる実践での研究活動！」山勢博彰(山口大学大学院医学系研究科教授)、今泉千代(日本看護協会図書館館長)／4「令和4年度診療報酬改定のポイント」吉川久美子(日本看護協会常任理事)／ほか

- 参加登録：[当日申込] 11月8日(火)～9日(水)
※現地開催の申込者は講演・公募企画のオンデマンド配信が視聴可能。一般演題・ランチョンセミナーは配信なし。
- 参加費：[当日参加(現金払い・税込)] 会員1万4850円、非会員1万9800円、学生5500円
- 問い合わせ先：運営事務局
株式会社幕張メッセ 事業企画課
〒261-8550 千葉市美浜区中瀬2-1
TEL：043-296-0623(平日9:00～17:30)
FAX：043-296-0529
E-mail：2022makuhari@jnagakkai.jp
URL：https://2022makuhari.jnagakkai.jp/index.html

第42回日本看護科学学会学術集会 (ハイブリッド開催)

- **日時**：現地会場＋ライブ配信 12月3日(土)～4日(日)
- **会場**：広島国際会議場、広島市文化交流会館、JMSアステールプラザ
- **テーマ**：ケアサイエンスの構築に向けて看護科学の深化と発展
- **プログラム**：会長講演・特別講演1「研究開発された看護ケアを世界に届ける：国際共同研究」森山美知子(広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学)／「スリーゼロ社会を目指して」ムハマド・ユヌス(ノーベル平和賞受賞者)／基調講演1「ケアサイエンスの構築に向けて(仮)」西村ユミ(東京都立大学健康福祉学部人間健康科学研究科)／2「ケアのイノベーション」須釜淳子(藤田医科大学保健衛生学部)／3「医療DXの現在地と展望」矢作尚久(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)／パネルディスカッション1「ケアサイエンスをどのように構築していくのか(仮)」標葉隆馬(大阪大学社会技術共創研究センター)、山川みやえ(大阪大学大学院医学系研究科)、山田あすか(東京電機大学未来科学部建築学科)／2「ケアのイノベーション(仮)」桑名健太(東京電機大学工学部先端機械工学科)、雨宮歩(千葉大学大学院看護学研究院)、野里同(岩手医科大学看護学部)／3「ビッグデータとAIを活用した新たなケア提供システムの構築」福井小紀子(東京医科歯科大学在宅ケア看護学分野)、加澤佳奈(広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座)、小林美亜(山梨大学大学院総合研究部医学域)／4「看護学教育のグローバルスタンダードに向けて——コロナ禍を通して見えた、看護学教育として変わらなければならないこと」Julie T. Stanford (Dean- School of Nursing, University of Mississippi Medical Center)、高田早苗(日本看護学教育評価機構)、石田昌宏(参議院議員)、手島恵(国際看護師協会理事)、渡邊美和(文部科学省高等教育局医学教育課看護教育専門官)／メインシンポジウム「デジタルトランスフォーメーション(DX)と看護科学の未来」清住哲郎(防衛医科大学校)、五十嵐歩(東京大学大学院医学系研究科)、織田千賀子(藤田医科大学保健衛生学部看護学科成人看護学)、高橋聡明(東京大学大学院医学系研究科老年看護学分野)、小池武嗣(聖隷クリストファー大学看護学部)／シンポジウム1「『生きる』を支える看護ケアのイノベーション」坂井志織(淑徳大学看護栄養学部看護学科/看護学研究科)、谷口珠美(山梨大学大学院総合研究部医学域看護学系)、重見美代子(医療法人朝陽会美須賀病院)、三浦由佳(藤田医科大学社会実装看護創成研究センター)／国際シンポジウム「コロナパンデミック禍世界の国々では演習や実習をどのように確保したのか：米国、英国、スウェーデン、スペインの対応」by INU (International Network of Universities), Nursing Leadership Collaborative／記念講演「世界の卓越した女性の看護師・助産師のリーダー100人」新福洋子(広島大学大学院医系科学研究科国際保健看護学)／教育シンポジウム「アジア・アフリカ学術基盤形成事業の工夫と困難さ：学術振

興会(2011-2022)」堀内成子(聖路加国際大学)、岡美雪(聖路加国際大学大学院看護学研究科)、小黒道子(東京医療保健大学大学院千葉看護学研究科)、橋本麻由美(常磐大学大学院看護学研究科/常磐大学看護学部看護学科)／教育シンポジウム「認知の歪み(発達障害・知的障害)へのアプローチ・研究の最前線」宮口英樹(広島大学)、久保木祐樹(広島少年院)、石附智奈美(広島大学大学院医系科学研究科)／公開シンポジウム(日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会、および日本看護学会協議会合同企画)「地元創成看護学の実装——教育・研究・社会貢献の循環」野戸結花(弘前大学大学院保健学研究科)、射場典子(聖路加国際大学)、森下安子(高知県立大学看護学部)／ほか

■ **参加費**：[当日受付(現金のみ)] 会員1万2000円、非会員1万4000円、外国人留学生、海外に居住する外国人2000円
※学生(看護基礎教育課程在籍者)は当日受付なし

■ 問い合わせ先：運営事務局

株式会社インターグループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館4F

TEL：03-5549-6912

FAX：03-5549-3201

E-mail：jans42@intergroup.co.jp

URL：https://square.umin.ac.jp/jans42/index.html

※掲載している情報は8月31日時点のものです。最新の情報は主催元にご確認ください。